

西宮市役所ECOプラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画  
(事務事業編)

令和2年度(2020年度)実績報告書



西宮市

令和4年(2022年)7月

## 目 次

1. 計画について	—————	P. 2
2. 令和2年度（2020年度）目標設定対象排出量の実績	—————	P. 2
3. 目標設定対象排出量の内訳	—————	P. 3
4. 目標設定対象排出量の内訳（円グラフ）	—————	P. 3
＜参考＞令和2年度（2020年度）総排出量の実績	—————	P. 4
＜参考＞最新の排出係数（平成30年度（2018年度）を 用いて算出した目標設定対象排出量	—————	P. 4

## 1. 計画について

本市では、平成 26 年度(2014 年度)より西宮市役所 E C O プラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)-を推進しています。

計画期間を平成 26 年度(2014 年度)から令和 3 年度(2021 年度)までの 8 年間とし、本市の事務・事業(指定管理者制度の対象施設における活動を含む)から排出される温室効果ガス<sup>\*1</sup>(目標設定対象排出量<sup>\*2</sup>)を令和 3 年度(2021 年度)までの 8 ヶ年で平成 25 年度(2013 年度)(基準年度)より 8 %削減することを目標としています。

- ※ 当初の計画期間は令和 2 年度(2020 年度)まででしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって B C P が発動されたことにより、次期計画策定を令和 3 年度(2021 年度)に延期したため、計画期間及び削減目標を変更しています。
- ※ 排出係数及び地球温暖化係数の改正により、平成 25 年度(2013 年度)以降の温室効果ガス排出量を算出し直しています。
- ※ 計画の進捗状況管理にあたり、温室効果ガス排出量算出の際、電力排出係数(1 kWh の電気を生産するにあたり発生する二酸化炭素量)の増減に左右されない評価を行うため、平成 24 年度(2012 年度)の電力排出係数(平成 25 年度(2013 年度)以降の新規参入事業者は使用できる最も古い電力排出係数)を固定して使用しています。
- ※ 1 温室効果ガス…本計画では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)の 4 つが対象。
- ※ 2 総排出量と目標設定対象排出量…総排出量は、市役所のすべての事務・事業から発生する温室効果ガスの排出量。これに対し、目標設定対象排出量は総排出量から一般廃棄物焼却、下水処理及び麻酔(笑気ガス)の使用による排出量を除外したものの。

## 2. 令和 2 年度(2020 年度) 目標設定対象排出量の実績

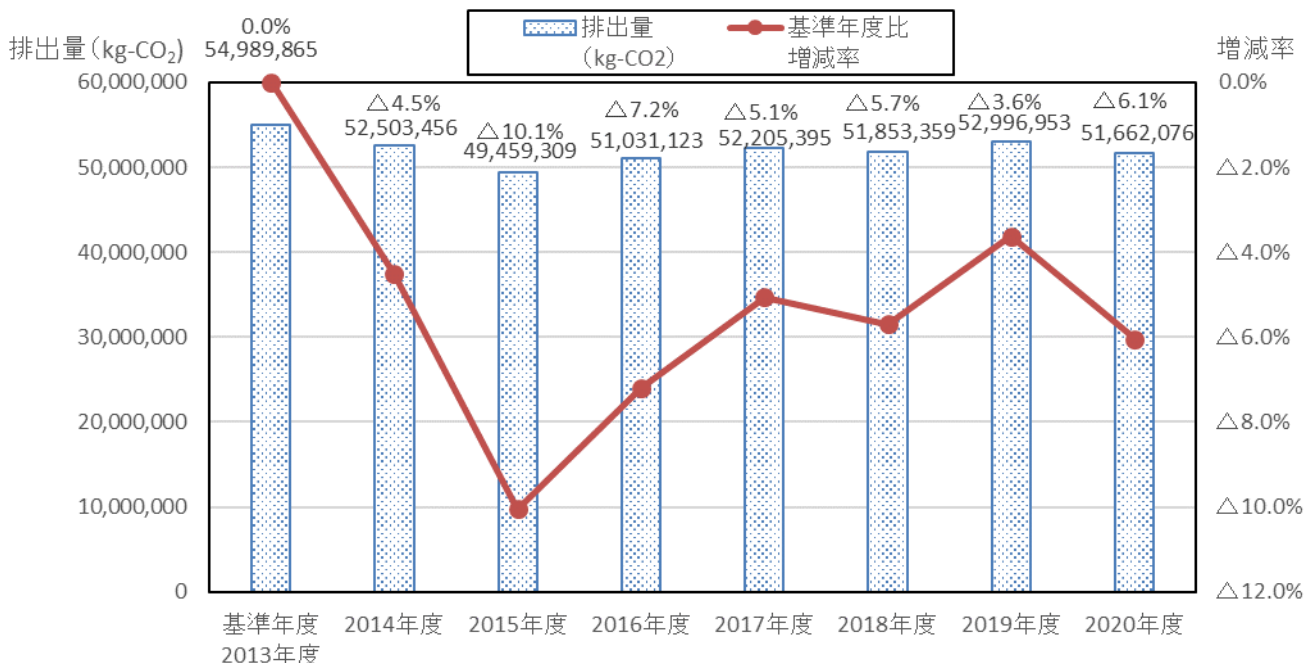
令和 2 年度(2020 年度)の目標設定対象排出量と対基準年度(平成 25 年度(2013 年度))及び対前年度(令和元年度(2019 年度))との比較については表 1、基準年度以降の目標設定対象排出量及び削減率の推移は図 1 のとおりです。

表 1 令和 2 年度(2020 年度)の目標設定対象排出量の対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

基準年度 平成 25 年度 (2013 年度)	令和元年度 (2019 年度)			令和 2 年度 (2020 年度)					
	排出量	排出量	対基準年度		排出量	対基準年度		対前年度	
			増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率
54,989,865	52,996,953	△ 1,992,912	△ 3.6%	51,662,076	△ 3,327,789	△ 6.1%	△ 1,334,877	△ 2.5%	

図 1 目標設定対象排出量及び削減率の推移



### 3. 目標設定対象排出量の内訳

令和2年度(2020年度)の目標設定対象排出量の活動別の内訳と基準年度(平成25年度(2013年度))及び対前年度(令和元年度(2019年度))との比較については、表2のとおりです。

前年度と比較して目標設定対象排出量は2.5%減少しています。

○主な活動別の温室効果ガス排出量の増減要因

(1) 電気(前年度比△1,656,220kg-CO<sub>2</sub>、△4.5%)

排出量減少の要因としては、事業系廃棄物の減少により消費電力量が減ったことや、市内公園の照明のLED化があげられます。

(2) 都市ガス(前年度比+611,313kg-CO<sub>2</sub>、+6.4%)

排出量増加の要因としては、空調の稼働時間の延長や換気をしながらの空調をしたことがあげられます。

(3) ガソリン(前年度比△53,345kg-CO<sub>2</sub>、△9.2%)

排出量減少の要因としては、新型コロナウイルス感染による活動制限などにより、公用車の使用頻度が減少したことがあげられます。

(4) 軽油(前年度比△1,842kg-CO<sub>2</sub>、△0.4%)

排出量減少の要因としては、新型コロナウイルス感染による活動制限などにより、公用車の使用頻度が減少したことがあげられます。

表2 目標設定対象排出量の活動別内訳

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

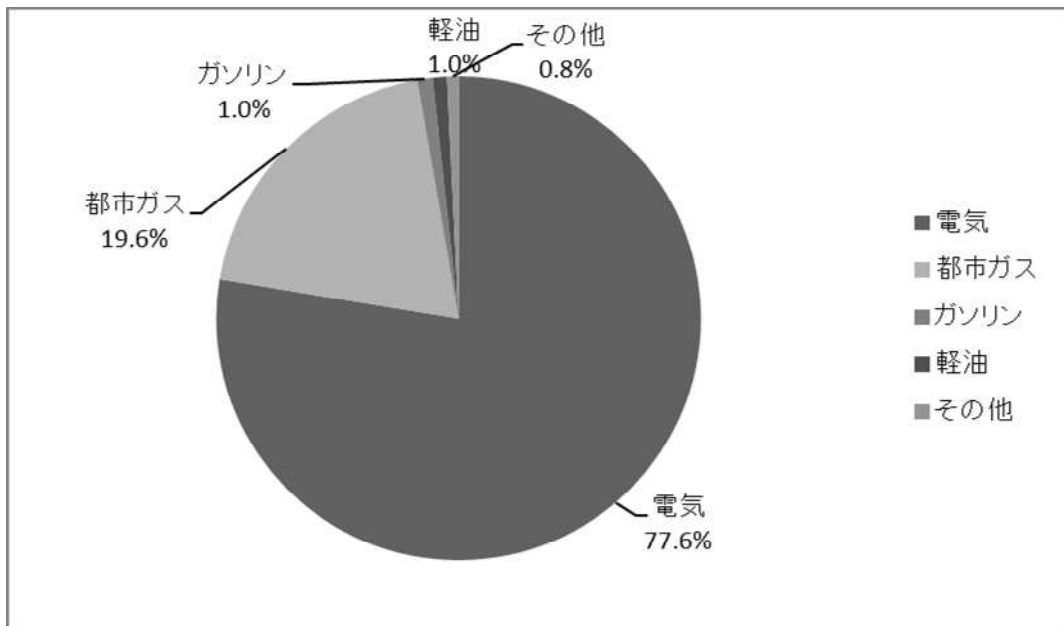
関連する活動	基準年度 平成25年度 (2013年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	増減量 (対基準年度)	増減率 (対基準年度)	増減量 (対前年度)	増減率 (対前年度)
電気	45,396,692	41,979,268	40,103,747	△ 5,292,945	△11.7%	△ 1,875,521	△4.5%
都市ガス	7,409,405	9,530,684	10,141,997	2,732,592	36.9%	611,313	6.4%
A重油	419,587	228,919	288,061	△ 131,526	△31.3%	59,142	25.8%
LPG	51,644	34,996	28,320	△ 23,324	△45.2%	△ 6,676	△19.1%
灯油	350,119	82,865	42,514	△ 307,605	△87.9%	△ 40,351	△48.7%
ガソリン	658,103	579,599	526,254	△ 131,849	△20.0%	△ 53,345	△9.2%
軽油	393,883	495,216	493,374	99,491	25.3%	△ 1,842	△0.4%
CNG	280,141	37,950	12,544	△ 267,597	△95.5%	△ 25,406	△66.9%
自動車の使用	30,290	27,456	25,265	△ 5,025	△16.6%	△ 2,191	△8.0%
<b>目標設定対象排出量</b>	<b>54,989,865</b>	<b>52,996,953</b>	<b>51,662,076</b>	<b>△ 3,327,789</b>	<b>△6.1%</b>	<b>△ 1,334,877</b>	<b>△2.5%</b>

### 4. 目標設定対象排出量の内訳(円グラフ)

令和2年度(2020年度)の目標設定対象排出量の活動別の割合は、図2のとおりです。

電気及び都市ガスの使用による温室効果ガス排出量が全排出量の97.3%と大部分を占めています。特に、電気の使用による排出量は77.6%を占めており、電気の使用量を減らすことが目標設定対象排出量の削減のための最も重要な要素となっています。

図2 活動別の目標設定対象排出量の割合



※その他…A重油、LPG、灯油、CNG、自動車の使用

<参考> 令和2年度(2020年度) 総排出量の実績

総排出量は、目標設定対象排出量に、一般廃棄物焼却及び下水処理に伴う排出量、麻酔（笑気ガス）使用に伴う排出量を合わせたものです。これらの活動に伴う排出量は、市民や事業者の活動などと直接関係しており、市の事務・事業として目標を設定することは不適切なため、目標設定対象排出量からは除外しているものです。

令和2年度(2020年度)の総排出量の内訳と基準年度（平成25年度(2013年度)）及び対前年度（令和元年度(2019年度)）との比較については、表3のとおりです。

表3 総排出量の内訳、対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

	基準年度 平成25年度 (2013年度)	令和元年度 (2019年度)			令和2年度 (2020年度)				
		実績	対基準年度		実績	対基準年度		対前年度	
			増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率
総排出量	122,695,352	120,642,621	△2,052,731	△1.7%	119,097,122	△3,598,230	△2.9%	△1,545,499	△1.3%
目標設定排出量	54,989,865	52,996,953	△1,992,912	△3.6%	51,662,076	△3,327,789	△6.1%	△1,334,877	△2.5%
一般廃棄物の焼却に伴う排出	63,574,241	63,585,472	11,231	0.0%	63,188,156	△386,085	△0.6%	△397,316	△0.6%
下水処理に伴う排出	4,131,246	4,042,316	△88,930	△2.2%	4,229,010	97,764	2.4%	186,694	4.6%
麻酔(笑気ガス)使用に伴う排出	0	17,880	17,880	-	17,880	17,880	-	0	0.0%

<参考> 最新の排出係数(平成30年度(2018年度)実績)を用いて算出した目標設定対象排出量

表4 令和2年度(2020年度)の目標設定対象排出量の対基準年度及び対前年度の増減量・率

(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

基準年度 平成25年度 (2013年度)	令和元年度 (2019年度)			令和2年度 (2020年度)				
	排出量	対基準年度		排出量	対基準年度		対前年度	
		増減量	増減率		増減量	増減率	増減量	増減率
54,989,865	41,955,633	△13,034,232	△23.7%	39,164,653	△15,825,212	△28.8%	△2,790,980	△6.7%